

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	あり
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	現代舞踊
----	----	----	------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくいでいひえいりかつどうほうじんこくさいぶんかこうりゆうそくしんきょうかいがかりかていべいと 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート	団体ウェブサイトURL https://www.npo-cultivate.org/
代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明	
制作団体所在地	〒 227-0062 神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607	最寄り駅(バス停) 東急電鉄田園都市線青葉台駅
電話番号	045-516-6515	
ふりがな 公演団体名	とくいでいひえいりかつどうほうじんこくさいぶんかこうりゆうそくしんきょうかいがかりかていべいと 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート	団体ウェブサイトURL https://www.npo-cultivate.org/
代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明	
公演団体所在地	〒 227-0062 神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607	最寄り駅(バス停) 東急電鉄田園都市線青葉台駅
制作団体 設立年月	平成23年10月	
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等
	代表理事/堅田 政明 理事/谷口 修 理事/水田 晶博 監事/長谷川 茂 顧問/姉小路公孝	代表理事(1名)⇒理事(2名)⇒事務局(3名) 理事会 ⇒ 運営委員会 企画部門 - プロジェクトチームを編成 (制作、演出、スタッフ、キャスト、ダンサー他) ※巡回公演出演ダンサーの一部は採択次年度以降、順次 公演実施ブロック・地域対象のオーディションを行い決定 しています。
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名 堅田政明
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 堅田浩巳
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	hkatada12@gamil.com	

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>■法人設立 平成23年10月(横浜市)以後～ 1) 設立直後の平成24年11月文化庁:「芸術家の派遣事業」にて現代舞踊分野のヒップホップダンサーを市立中学校(横浜市青葉区)の体育授業に学校長の要請により外部講師として正式に派遣を開始。 2) 以後、全国各地域(北海道から鹿児島)の小中高校並びに特別支援学校にトップレベルのプロダンサーを派遣し高評価獲得。特に西日本地域に於いて本派遣事業他分野の演目を加え多くの学校の希望で継続的に実施。 3) 平成27年11月学校巡回公演:現代舞踊『これがヒップホップダンス!』初年度上演開始～ 4) 以後、今年度の令和6年11月迄の10年間で全国10地域約200校の小中学校・特別支援学校学校巡回公演を実施中。</p> <p>※尚、学校巡回公演事業:現代舞踊:<u>ヒップホップダンス(ストリートダンス)分野で唯一制作・巡回公演する団体</u>として実施を行い又、同じく文化庁事業の芸術家派遣事業やコミュニケーション能力向上事業、更に直近ではユニバーサル公演事業や複数の文化施設等活用事業に於いても活動領域や分野を広げ地域的、学校種別的にも幅広く活動し、多数の学校現場(令和5年度は150校程:多年度採択・継続実施校舎)で高い評価と信頼を得ています。</p>																																								
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>■現代舞踊:ストリートダンス公演の制作公演(実施)団体として、この10年間で全国の小中学校等で上演を重ね、約200校で<u>世界トップレベルのヒップホップダンス公演を実施</u>しています。 ・学校巡回公演(文化庁事業):演目 現代舞踊「これがヒップホップダンス!」実施校数</p> <table border="0"> <tr><td>1) 平成27年 5～6月</td><td>学校巡回公演</td><td>計21校実施</td><td></td></tr> <tr><td>2) 平成28年 5～6月</td><td>学校巡回公演</td><td>計17校実施</td><td></td></tr> <tr><td>3) 平成29年 5～7月</td><td>学校巡回公演</td><td>計14校実施</td><td></td></tr> <tr><td>4) 平成30年 5～7月</td><td>学校巡回公演</td><td>計21校実施</td><td></td></tr> <tr><td>5) 令和元年5月～7月</td><td>学校巡回公演</td><td>計14校実施</td><td></td></tr> <tr><td>6) 令和2年6～3年3月</td><td>学校巡回公演</td><td>計26校実施</td><td></td></tr> <tr><td>7) 令和3年10月～11月</td><td>学校巡回公演</td><td>計22校実施</td><td rowspan="2">8)</td></tr> <tr><td>令和4年6月～10月</td><td>学校巡回公演</td><td>計 8校実施</td></tr> <tr><td>9) 令和5年10月～11月</td><td>学校巡回公演</td><td>計 8校実施</td><td></td></tr> <tr><td>10) 令和6年10月～11月</td><td>学校巡回公演</td><td>計 8校実施</td><td></td></tr> </table> <p>又、上記外演目で演劇分野『浜田広介童話集』やユニバーサル公演や文化施設等活用公演では『ぼくらしくみらしく』、『ダンスエンターテイメント!』、『THE DANCE SHOW3:ザ・ダンスショー2023』等を希望されるさまざまな地域・学校で公演を行い地域の文化・教育振興に役立て頂いています。</p>		1) 平成27年 5～6月	学校巡回公演	計21校実施		2) 平成28年 5～6月	学校巡回公演	計17校実施		3) 平成29年 5～7月	学校巡回公演	計14校実施		4) 平成30年 5～7月	学校巡回公演	計21校実施		5) 令和元年5月～7月	学校巡回公演	計14校実施		6) 令和2年6～3年3月	学校巡回公演	計26校実施		7) 令和3年10月～11月	学校巡回公演	計22校実施	8)	令和4年6月～10月	学校巡回公演	計 8校実施	9) 令和5年10月～11月	学校巡回公演	計 8校実施		10) 令和6年10月～11月	学校巡回公演	計 8校実施	
1) 平成27年 5～6月	学校巡回公演	計21校実施																																							
2) 平成28年 5～6月	学校巡回公演	計17校実施																																							
3) 平成29年 5～7月	学校巡回公演	計14校実施																																							
4) 平成30年 5～7月	学校巡回公演	計21校実施																																							
5) 令和元年5月～7月	学校巡回公演	計14校実施																																							
6) 令和2年6～3年3月	学校巡回公演	計26校実施																																							
7) 令和3年10月～11月	学校巡回公演	計22校実施	8)																																						
令和4年6月～10月	学校巡回公演	計 8校実施																																							
9) 令和5年10月～11月	学校巡回公演	計 8校実施																																							
10) 令和6年10月～11月	学校巡回公演	計 8校実施																																							
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>■文化庁事業:芸術家派遣/コミュニケーション能力向上事業並びユニバーサル公演事業等 法人設立直後より横浜市立市ヶ尾中学校、同市立中川西中学校、神奈川県立横浜南養護学校等に於いて個別支援学級(特別支援学級)及病院内学校にプロダンサーによる『ダンス鑑賞とワークショップ授業』を行いました。 その後も継続実施し、特に重複障がい児童生徒の特別支援学校でのワークショップ授業の実施をしています。平成27年度学校巡回公演では福島県立大笹生養護学校並び石川養護学校で公演を実施し、更に同30年度、31年度に於いては、神奈川県立麻生養護学校や広島県立三原特別支援学校等々<u>毎年度支援教育校も複数校で本学校巡回公演が実施</u>され、児童生徒はもとより教員方からも高評価を得ています。 又、コミュニケーション能力向上事業は29年度から前述の特別支援学校でも継続実施され、その後毎年度大阪府立の支援学校も加わり、その<u>東西での取り組み成果が公演事業に多面的にフィードバックされ好循環</u>となっています。その後も東西の特別支援学校で実施するコミュニケーション能力向上事業、ユニバーサル公演事業等が毎年度各地の支援学校等に於いて幅広く各地域に実績を積み重ねています。</p>																																								
<p>参考資料の有無</p>	<p>実施する</p>	<p>有</p>																																							
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>http://npo-cultivate.org/</p>																																							
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:																																				
ID:																																									
PW:																																									

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	- 日韓トップダンサー夢の競演 - 『これがヒップホップダンス！』			
企画のねらい	<p>1) 国内での広がり この数年でストリートダンスは、一部の愛好家や若者文化の象徴から、世界中の多くの人々に支持される大衆的な文化へと成長しました。昨年の2024年パリオリンピックではヒップホップダンスの中でブレイクダンスが正式競技種目として採用され、本選で日本勢が大活躍し女子の優勝者が生まれています。</p> <p>2) ダンスの持つ魅力 この様に日本のレベルが多くの子供ダンサーの活躍もあり、ダンスは健康促進や文化芸術として社会に大きく広がりました。本公演は、子供たちにその魅力を伝え、国際的な交流を促進する機会や意識を醸成します。</p> <p>3) 学校・授業での広がり 日本国内では、2012年から中学校の体育の授業でダンスが必修化され、小中学校の児童・生徒たちが日常的にダンスに取り組む機会が大幅に増加しています。このような環境や背景を踏まえ、本公演では、次世代の子供たちにストリートダンスの技術や表現の自由さを体感させ、スポーツや文化としてのダンスの魅力をより理解させることを狙っています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>【演目概要】 ●本公演では、日韓のトップダンサーが多様な種類のヒップホップ(音楽)をバックにダンスを披露。児童・生徒がそのリズムに乗った運動技術と身体表現力を眼前で学びます。また、ダンスのワークショップを通じて、参加者は直接体験しながらダンスの楽しさを実感します。日韓の文化交流がダンスを通じて進められ、国際的な視点で異文化理解を深める内容で両国のダンサーが共演し、競技性と芸術性を融合させたステージを提供します。 ●このステージを学校現場で本格的に導入、実施され浸透してきたダンスを次世代を担う児童・生徒達向けに、よりブラッシュアップ。更に様々な文化芸術的要素も大胆に取り入れ表現、世界に誇れる日本人トップダンサーを起用し、文化交流史としても長い時間を重ねてきたお隣の国、韓国のトップダンサー達も参画します。 ●本公演に参加する韓国のダンサーは特に来日経験も豊富で日韓共同のステージも多数経験している実績豊富なダンサーを起用しています。このチームが優れた高い文化・芸術性を表現し、他では決して得ることが出来ない驚きと楽しさあふれる交流体験・感動を与え、もっと楽しく、ダンスを、身体を動かしたくなる様なども盛り上がるステージです。 ●次に本公演の構成内容をご覧ください。⇒【別添No.2-②】</p> <p>【演目選択理由】 ヒップホップダンスを選択した背景/理由 ●児童・生徒達やその他様々な分野や領域へストリートダンス:ヒップホップダンスの認知の急速な広がり深まり、そして定着が全国的に顕著になりました。□ ●2024パリオリンピック開会式が世界中の人々に示した様にストリートダンスの国際性と文化・芸術性への理解と高まりがあります。更に中学校での「ダンス必修化」に伴い、社会的に大きく取り上げられ、幅広く若年層から中高年齢層にまでダンスが認知、自らも取り組む姿が多く見られます。 ●世界の大会で日本勢と共に上位を競う韓国のトップダンサーも本公演に参画し、そのダンスを披露するだけではなく、生徒達とも交流・触れ合いを通じ互いの文化を知る、相互に理解しあい友情をはぐくみ交流を重ねることの大切さを学びます。 ●又、現在文化庁事業である『学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業』に於いても、ヒップホップダンスの鑑賞・体験型の授業を小中学校等で複数地域(大阪府他)で実施しました。⇒【別添No.2-①】</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ●事前のワークショップで初めてのダンス体験から本公演本番のダンス参加まで、児童生徒達へのダンス指導とトッププロダンサーとのコミュニケーションや相互の交流が多数の機会で行われます。 ●世界レベルのダンス公演の鑑賞体験 ●本公演でのダンス参加体験 ●事前ワークショップでのチーム別結果発表会や学年・クラスやグループ合同でのダンス参加体験 ●教職員の方々も児童生徒と共にワークショップや公演時にダンスに参加頂くことが可能です。多くの学校公演で校長先生や先生方が積極的に舞台上でパフォーマンスを披露され、終了後これまで以上に児童生徒とのコミュニケーションが活発となった等の感想を多数頂いています。 ●日韓ダンサーとの質疑応答や相互交流・文化交流会 ●ご希望によりステージアート(舞台芸術・技術)体験ステージ設営体験(舞台作り、照明、音響等)公演やワークショップで使用する音楽(曲目)を校内放送で流し、生徒達に親しんで頂き、より効果性を高めます。 			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	学校のご希望により検討します	
		鑑賞人数目安	10~8000名程	
本公演演目	<p style="text-align: center;">学校巡廻公演(2025) □</p> <p>・企画: 堅田 浩巳 ・制作: 堅田 政明 ・監修: 姉小路公孝</p> <p style="text-align: center;">- 日韓トップダンサー夢の競演 -</p> <p style="text-align: center;">『これがヒップホップダンス！』</p> <p style="text-align: right;">・構成/演出: 今城 裕治</p> <p style="text-align: right;">・振付: 江頭 耕治</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
出演者	※⇒別添No.2-③『出演者リスト』(予定)をご覧ください。			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>堅田浩巳:総合プロデューサー 制作団体法人設立代表者/本公演プロデュース 他演劇、児童劇、ミュージカル公演他多数の公演プロデュースを行う。 今城裕治:構成演出 (株)オーパス代表/文化庁:本学校巡回公演:構成演出/大規模スポーツ催事等多数制作し、構成演出も行っている。 江頭耕治:演出振付 (株)演舞麗夢代表/『THE BATTLE』(民音ステージ)で海外(米・露・中・韓)トップダンサーと全国ツアーで共演多数。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等	出演者: 10 名 スタッフ: 16 名 合計: 26 名	運搬	積載量: 4 t ワイド 車長: 8.64 m 台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有	前日仕込み所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	午前8時	午前8時～午後0時		午後1時30分～ 午後3時	0分 (水分補給 有)	午後3時30分～ 午後4時30分	午後5時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月		8月	9月		
	20日	10日		3日	20日		
	10月	11月		12月	1月		
	20日	20日		20日	20日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計	133日	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>							
							
							
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当あり	該当コンテンツ名		楽曲（一部除く）	
	該当事項がある場合	権利者名	Jasrack	許諾確認状況		使用(上演)許諾取付済	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】

<p>ワークショップのねらい</p>	<p>【ワークショップのねらい】 ・ダンサーチームのリーダーによる説明とダンス指導を行います。 ・ストリートダンスのストレッチ・ステップ・動作の<u>基本を習う</u>。 ・ストリートダンス応用編:振付や複数やチーム等に取り組み、<u>本公演に向けて練習</u>をする。 所要時間は約90分としていますが、教員方とご相談の上調整も可能です。 又、スケジュールや楽屋等に関する打合せも行います。</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>参加人数目安</p>	<p>数名～800名以上も可</p>
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>【事前打合せ等準備】 特に担当の教員の方々と児童・生徒達に対する留意点の有無を含め、打合せ・調整を充分に行い準備・実施します。現在、個別にダンサーがボランティア等でダンスを教えに伺っています。又、平成27～令和4年度の学校巡回公演に於いても複数の公・私立養護学校でワークショップと上演を行っています。更に、きめ細かな準備と実施が求められる芸術家派遣事業(文化庁)も、小中学校個別支援(特別支援)学級等で授業を多数校で行い大変好評を得ており、参観の保護者の方々からも非常に高評価を頂き、29年度から、更に高度なスキルを求められるコミュニケーション能力向上事業(文化庁)も採択され令和4年度では全国10校以上で準備・実施が進んでいます。 これら各校の先生方も支援を必要とする生徒達も、音楽や体を動かす事が大好きで、プロダンサーとの交流をととても楽しみにしています。私達もこの学校公演で、生徒の皆さんに本物のトップダンサーによる文化芸術に触れて頂き、ヒップホップ・ストリートダンスの楽しさを体感して頂きたいと強く思っています。</p> <p>【実施形態及び内容】 ・ダンサーチームのリーダーによる実施内容の説明とダンス実技の指導を行う。 ・ストリートダンスの実施前ストレッチ、その後にステップ・動作の基本を学ぶ。 ・ストリートダンス応用編:振付や複数やチーム等に取り組み、本公演に向けての練習をする。 所要時間は約90分(標準:2コマ)としていますが、上記内容と共に教員方とご相談の上調整も可能です。又、スケジュールや公演会場の下見・確認、楽屋等に関する打合せも行います。</p> <p>■事前ワークショップの実施の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>中 学 校</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>特別支援学校 (小学部)</p>  </div> </div>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>【事前打合せ等準備】 特に担当の教員の方々と児童・生徒達に対する留意点の有無を含め、打合せ・調整を充分に行い準備・実施します。現在、個別にダンサーがボランティア等でダンスを教えに伺っています。又、平成27～令和6年度の巡回公演事業に於いても複数の公・私立養護学校でワークショップと上演を行っています。更に、きめ細かな準備と実施が求められる芸術家派遣事業(文化庁)も、小中学校個別支援(特別支援)学級等で授業を多数校で行い大変好評を得ており、参観の保護者の方々からも非常に高評価を頂き、29年度から、更に高度なスキルを求められるコミュニケーション能力向上事業(文化庁)も採択され令和5年度では全国10校以上で準備・実施がされています。 これら各校の先生方も支援を必要とする生徒達も、音楽や体を動かす事が大好きで、プロダンサーとの交流をととても楽しみにしています。私達もこの学校公演で、生徒の皆さんに本物のトップダンサーによる文化芸術に触れて頂き、ヒップホップ・ストリートダンスの楽しさを是非体感して頂きたいと強く思っています。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

①本事業に対する取り組み姿勢

●本事業申請の背景にはダンスの更なる社会的認知の広がりや浸透があります。
1)ダンスの学校教育への導入。特に平成24年度中学校での「ダンス必修化」に伴い、社会的に大きく取り上げられ、幅広い若年層から中高年齢層にまで認知される様になり、ヒップホップの児童・生徒達への広がり:各種キッズダンス国内大会の開催、更に2018年リオデジャネイロ・ユースオリンピックでのブレイクダンスの競技種目採用とその出場した日本の若き男女ブレイクダンサー達の活躍等もありました。
そうした中で、2025年のパリオリンピックではブレイクダンスが正式な競技種目となり、予選から日本の若き男女ブレイクダンサーたちが活躍しついに女子のブレイクダンサーがトップとなり金メダルを獲得したのです。

この様に更にヒップホップダンスに対する認知度が高まり、都市部のみならず日本各地のダンススタジオに於いても子供たちを中心に指導の需要が更に高まっています。又、毎年の様に新たな大会等が各地で開催されこのヒップホップダンス分野に於いても様々な取り組みが一層増加する傾向にあると考えられます。

2)そして、現在オリンピック後も日本人ダンサーが、若手の多くを含め世界に羽ばたき活躍し、高度な技能・芸術性で世界のダンス界をリードしています。

3)本公演は児童生徒がダンスを通して他国との文化交流の重要性を学び、その現場を体感出来る内容です。

●この様に本学校巡回公演に於いてダンスという文化芸術を通じ多くの子供達へ、

1)優れた文化・芸術への関心度の深化や将来の芸術家育成、文化・芸術鑑賞力の更なる向上

2)健康な体や体力作り、体力向上への取り組み

3)レッスンを通じた子供達のチームやコミュニケーション能力の向上

4)複数名で取り組むダンスでのチームワークの大切さ、必要性和自らがリーダーシップを発揮しチームを創る力の育成・向上

等体感・実感を与えます。そして誇るべき日本文化を踏まえた他国との交流等、時代に沿った文化・芸術分野の新たな潮流と先駆的な内容を次世代を担う子ども達に提供し、理解を深める特に時を得た機会・内容と考え、本学校巡回公演に全力で取り組んでいます。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

●平成27年度～令和6年度実施の巡回公演やこれまでの小中学校等でのワークショップ、芸術家派遣事業、コミュニケーション能力向上事業他各種学校コンサートの経験から、実施校との取り組みは、まずスタッフが実施校を訪問する事が重要と考えます。スタッフとのヒアリングや打ち合わせを重ね、要望・希望を十分に汲み取り可能な限り活かす。信頼関係を強く構築することが基本で重要と取り組んでいます。そして、

1)ワークショップと本公演の連動性を更に高めるため、まず先生方や子ども達の希望によりダンサーと共演が出来る場面を先生方と協議、ご相談を行い実施することも可能です。

2)地域内で学校別チーム(生徒チームや教員チーム・PTAチームも可能)によりダンスコンテスト開催。地元・地域活動に寄与、参加者のモチベーションアップを図る。

3)ダンサーが先生方と協力や補助させて頂きながら様々な形態の文化芸術等関連の授業を行い、生徒達の学習意欲と参画意識を高める。

等々が様々な工夫が考えられ各地で取り組みが進んでいます。

●更に本公演と共に重視されるワークショップの実施上の工夫点としては、

1)ダンスの文化的・歴史的発展過程や側面・背景を多文化共生や文化・芸術誕生として捉え、児童生徒達に座学や実技で楽しく興味を高めながら本公演に臨む。

2)地域的な連続性により上記の深堀とその質の向上が望めます。更に子ども自身で文化や芸術分野への影響を調べる等学習意欲を高める効果的取り組みが可能。

3)そして本公演後には、生徒や教員・PTAの方々に対するアンケート調査、並びにヒアリング調査。更に、積極的参加を促す為、PTA・保護者や地域の方々への聞き取り調査等の実施も考えられます。

4)生徒達の話や関心事変化の有無や授業、特に文化・芸術に関する授業に対しての取り組み態度の変化の有無等々。

これらの様々な機会を通して、子どもたちはもとより学校を中心としてPTA、地域社会等多くの関係者と事前事後ともにダンサーやスタッフ等の制作団体との相互間の情報を共有、意思疎通を常に図り、改善を重ねることにより実施校の期待や希望に応えると共に、十分に安心・安全を踏まえ公演の円滑な実施と共に更に高い効果性を実現する事が可能となると考えます。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】
演目選択理由	<p>■この様に本学校公演では、ヒップホップダンスを通じて、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 世界レベルの優れた文化・芸術への関心度の深化 2) 健康な身体や体力作り、体力向上への取り組みと重要性の理解 3) ダンスレッスンを通じたチームや相互のコミュニケーション能力向上 4) 国際文化交流として隣の韓国のダンサーとの交流を通じ、相互のコミュニケーションの重要性や文化の多様性を体感しながら、国籍や民族が異なっても同じ地球に住む人間どうしであることを実感してもらいたいと思います。 5) ワールドカップやオリンピック等のスポーツでも注目、強調される日本の『チーム力』、特に複数名で組むダンスによるチームワークの大切さ、必要性を学ぶ等の体験機会や実感を与えます。そして日本の誇れる優れた文化・芸術分野の内容を正しく生徒達に提供し、認知と理解を深めて頂く絶好の、また得難い機会と考えます。 <p>■次にこれまで学校巡回公演実施をさせて頂いた学校の先生方の声を紹介させていただきます。</p>	
	<p>・一緒に踊る場面があったり、反応を求められる場面があったりと、参加型の公演であった。その為、発達段階の違う1年生から6年生までが90分間を集中して楽しい時間を過ごすことができた。</p> <p>・ワークショップを含む本公演を通じて、直接体験や直接鑑賞することの大切さや、DVD等では得られない現代舞踊への興味・関心を高めること、身体表現をすることの楽しさなどを仲間とともに感じる事ができたようである。また、生徒の踊っている姿から、授業では見せない表情やダンスなどの身体表現能力など、生徒理解を行う良い機会となった。さらに、今後、ステップや振り付けをはじめ教科である保健体育のダンスの学習等に活用が期待される。</p> <p>・子どもたちに質の高い芸術を体験・鑑賞する機会を与えることができ、たいへんありがたく思います。ワークショップから本公演という構成がなされていたので、子どもたちも抵抗なくヒップホップダンスに親しみ、リズムに合わせて自ら体を動かす楽しさを実感することができました。また、体育科の表現運動の指導にも役立つもので、大変に参考になりました。</p> <p>・所狭しと舞台を駆け回る大きな動きや、激しい動きで見ている児童の視線を1時間半、途切れなく引きつけていた。また、ステージ上で踊るダンサーの本物の踊りを直に見ることによって、踊りのすばらしさを児童たちに感じさせることができた。</p> <p>・予想を大きく超えた舞台、照明、音響装置なども本格的であり、学校独白で取り組むダンス教室などとは一線を画したプロのダンスを体験させることができ、実施して本当によかったという感想をもてた。</p> <p>・全児童が踊ることに参加させていただいたが、全身を使っのダンス表現、表情豊かに踊る姿など、児童の普段は見られない姿を垣間見ることができたことも収穫だった。</p> <p>・普段学校に来れず、帰りも速足で帰っていた児童が、ダンサーの方との触れ合いがあったのを機に、その日から手を振って帰るようになった。また、不登校の傾向の子どもたちも学校に来て、参加することができた。</p> <p>(巡回公演『これがヒップホップダンス！』フィードバックシートより抜粋)</p>	

リンク先

No.2

【公演団体名 特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート】

演目概要(補足)

学校コンサート(2025)構成**-日韓トップダンサーの競演-****『これがヒップホップダンス!』**

MC (前説明)2分

《オープニング》(3分)

M1 テーマ曲 出演者全員登場 (2分30秒)

第1章 ヒップホップダンス? (15分)

MC (ヒップホップダンスとは?を、紹介)

①バックダンスとは
(ダンサーが出てきて紹介後、踊りのパターンを
紹介)②ストリートダンスとは
同上③ブレイクダンスとは
同上各スタイルの特徴を生かしたダンスを披露。ヒップホップの最高テクニックを披露することで、より近くにダンスを感じられる様に工夫
また、照明音響等効果を駆使して、ダンスシーン最先端の表現を見て、感じてもらう。**第2章 ヒューマンビートボックス****HB・ボイスパーカッションの一種) (10分)**

MC (ヒップホップの種類でヒューマンビートボックスを紹介・説明)

M5 ヒューマンビートボックス

ダンス以外のヒップホップ文化の一つである、ヒューマンビートボックス。ここで韓国からのビートボックスとして登場し妙技を披露し、日本チームダンサーと競演する。ダンス以外の文化にも触れながら、ヒップホップの魅力の違いから感じてゆく。この交流をきっと児童生徒たちは、目を丸くして、驚きの中で、時間を過ごすことだろう。

第3章【THE BATTLE】(20分)

MC (バトルの歴史と面白さ)

M2 戦い入場の音楽 □

M3 戦い
チーム赤 VS チーム青

(観客に勝負を決めてもらい、表彰式)□

M4 表彰～退場曲□

ダンサーを2チームに分け、ダンスを競い合う楽しみを体感。又、学校の状況によりもし可能であれば先生方だけのチームを編成、出場頂きパフォーマンスを披露頂く。
そして児童生徒たちに勝敗を判定してもらう。

M5退場曲

バトルの歴史を紹介しながら、武器による戦いではなく、文化による戦いを強調。そして、最後は、握手によって、ノーサイドになることを見せてゆく。

第4章みんなで踊ろう!! (20分)

MC (みんなで踊ることを提案)

M6 みんなで踊ろう

賑やかに、全員で、ヒップホップを習い、踊る!
ダンサーたちの自己紹介を含めて、全員で、ダンスの練習。皆のレベルに合わせて、最後は全校合同で、賑やかに、ヒップホップを踊る**第5章 質問コーナー (10分～)**

MC (子供たちとダンサーとの質疑応答、或いはサプライズコーナーあり)

賑やかなひと時を終えて、興奮冷めやらぬ雰囲気の中で、質問会を行う。
児童生徒とダンサーとがさらに近づき、別れがたい印象が強まってゆく。**終章 エンディング (5分)**

M7 エンディング(友好B)

出演者全員登場

最後は、もう一度、照明や映像溢れる中で、一人一人を紹介しながら、ダンサーたちの、得意なテクニックを披露しながら、大団円を作り上げてゆく。

総計90分

【出演者】 10名

・ダンサー	日本	・・・ロックダンサー	3名	ポップダンサー	2名
	韓国	・・・ブレイクダンサー	3名		
・ヒューマンビートボックス・・・			1名		
・司会	女性	・・・	1名		

合計10名

※この演目では、次世代を担う多くの児童生徒達に世界に誇る日本の本物の芸術・文化と共に韓国のトップダンサーと文化芸術を身近に、目の前で触れ大きな感動や驚きを感じてもらいます。そしてダンスを通じ、互いを理解すること、体を動かす楽しさや充実感を大いに実感してもらうことを狙いとしています。

